

日本三大山城の一つ 岩村城

恵那市の南部、標高717mにある要害堅固の山城。岩村城は、江戸時代の府城の中で一番標高の高い場所に築かれており、高取城(奈良県)、備中松山城(岡山県)と並ぶ日本三大山城の一つに数えられています。

岩村城の大きな特徴の一つは、現在も残る総延長1.7kmに渡る重厚な石垣です。中でも有名なのが、本丸の北東面にある六段壁と呼ばれる六段の石垣。江戸時代後半に築かれたもので、最上部にある高石垣を補強するためにできたものです。また、本丸埋門では3種類の積み方が一度に見えるなど、日本でも珍しい場所となっています。

もう一つの特徴は、名城の名にふさわしい連綿と続いた歴史にあります。源頼朝の功臣加藤景廉が岩村を含む遠山荘を与えられたのは1185(文治元)年といわれています。その子景朝が遠山を号して岩村を本拠地とし、

政治・経済・文化の 中心だった城下町

岩村の魅力は、城だけでなく城下町も江戸時代そのままの景観を今に伝えていることです。岩村城下町は、江戸時代、東濃地方の政治・経済・文化の中心地として栄えました。現在の本通りを中心に、間口の広い町家や土蔵が建ち、商人町・職人町が形成され、大いにぎわっていました。今も、全長約1.3kmの古い町並みには、当時の面影を残す商家や旧家、なまこ壁などが残っています。その歴史的景観が東濃地方の特色ある商家町として高く評価され、1998(平成10)年、岐阜県で3番目、全国で48番目となる国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



城下町にある商店などの玄関先には、女城主にちなんだ女将さんの名前入りのれんが並ぶ

special day

1

女城主が治めた 日本三大山城・岩村城を 訪ねる日



階段状に築かれた巨大な六段壁

全国的にも珍しい 女城主

戦国時代末期、城主の遠山景任が病没した際、養子の御坊丸(織田信長の五男)が幼少のため、その夫人・通称おつや(信長の叔母)が実質的な女城主として領地を治めていました。

1572(元龜3)年、武田家・秋山虎繁に攻められ、領民を守るため、虎繁の妻になることを条件とした無血開城に応じたとされています。その後は虎繁とともに平和な日々を送っていました。1575(天正3)年、武田の勢力が弱まると今

度は織田に攻められることに。領民や夫妻の命を守る条件で開城したとされていますが、信長はこれを反故にし、虎繁とおつやは処刑されてしまいました。



岩村歴史資料館

藩主邸跡に建つ博物館で、岩村城や岩村藩に関連する史料を数多く収蔵しています。

The day to visit Iwamura Castle, one of Japan's three largest mountain castles governed by a lady

Iwamura Castle was built on the highest elevation above sea level among the castles of the Edo period, and is counted as one of Japan's three largest mountain castles with Takatori Castle in Nara and Matsuyama Castle in Okayama. Stores, old houses and the traditional Japanese wall called the Namako wall that convey traces of that time, still remain in the castle town, which have been selected as a Preservation District for Groups of Important Historic Buildings.



下田歌子

女子教育に力を注いだ教育者

女子教育・地位向上に尽力

下田歌子(幼名・平尾鉦)は1854(安政元)年岩村藩士の娘として生まれました。幼少期から学問に通じ、16歳で上京して宮中の女官に登用。宮中の歌会で優れた歌を詠んだことから、皇后から「歌子」の名を賜りました。その後、歌子は女子教育の道に進み、実践女学校・女子工芸学校を創設するなど、女子教育者として多くの功績を残しました。

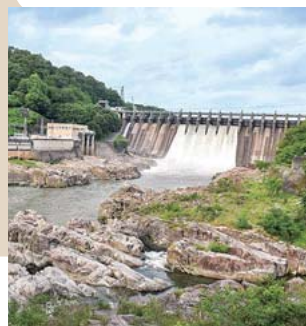


歌子が著した『女子国語読本』



日本の歴史を動かした偉人たちの姿をたどる日

The day to follow great men who changed Japanese history
Great people once existed in Ena City. It would not be an exaggeration to say that they changed Japanese history. A number of their achievements and their legends left in the city still continue to attract many people.



建設から95年経った今でも稼働する大井ダム

1924(大正13)年、激流の木曾川をせき止め、日本初のダム式水力発電所である大井ダムを建設した福沢桃介。幼い頃から神童といわれるほど頭が良く、その才能を福沢諭吉に見込まれ養子となり、実業家として電力事業に力を注ぎます。大井ダムの建設は困難を極めました。日本の女優第1号といわれる川上貞奴の援助もあり、ダムは完成。桃介は電力王として名を残しました。

Momosuke Fukuzawa

福沢桃介

日本初のダム式水力発電所を建設



明智光秀

激動の戦国を生きた知将

知将の生誕説が息づく地

明智光秀は、本能寺の変で主君の織田信長を討った謀反人として有名ですが、軍事・政治・外交など全てをこなす知将でした。明知城が築城された頃、西南にある千畳敷台地に落合山取手(多羅壱)が築かれたとされており、ここで光秀は生まれたという伝承があります。市内には、産湯として使ったとされる井戸など、光秀の息吹を感じる場所が多数あります。



産湯として使ったとされる井戸



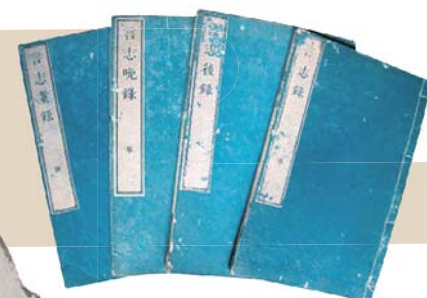
明智光秀公画像「本徳寺蔵」

幕末の指導者に大きな影響

1772(安永元)年、岩村藩家老の次男として生まれた佐藤一斎。林述斎(実父は岩村藩主松平乗通)の門下生となつて儒学を学び、70歳の時に昌平坂学問所の儒官になりました。一斎の門下生は3千人ともいわれています。彼の教えは西郷隆盛や吉田松陰・勝海舟・坂本龍馬など時代の転換期に活躍した人物をはじめ、多くの人に影響を与えました。

佐藤一斎

幕府からも目置かれた儒学者



一斎が40年に渡って筆録した随想録『言志四録』

Issai Sato